

平成 22 年度
第 6 回高校生ものづくりコンテスト山形県大会兼東北大会予選会
―自動車整備部門―

山形県立東根工業高等学校
自動車工学科 松田 浩明

1 はじめに

大会事務局として 2 年目を迎えたが、今年度は山形県大会に加え、東北大会の事務局として大会を運営することとなった。ダブル事務局として両大会とのスムーズでトラブルの無い運営を心掛けた。

2 大会概要

- a 期日 平成 22 年 6 月 19 日（土曜日）
- c 場所 山形県立東根工業高等学校
総合技術科 自動車専攻 実習工場

b 日程

- ～ 9:00 受付・ゼッケン配布
- 9:00～ 9:30 開会式
- 9:30～ 11:10 競技
- 11:10～ 12:10 昼休み・採点集計
- 12:10～ 12:40 結果発表・閉会式・表彰

c 競技者 6 名

- | | | |
|--------|-----|-----|
| 蔵王高校 | ・・・ | 2 名 |
| 羽黒高校 | ・・・ | 2 名 |
| 東根工業高校 | ・・ | 2 名 |



3 課題

競技課題は、「学科」「定期点検」「測定」「エンジンの故障探求」の 4 課題である。得点は各課題 100 点、総合計 400 点満点で争われ、合計点数の高い選手が上位となる。また、各課題の制限時間が 20 分間であり、総合計が同じ場合、作業に要した総時間が短い方を上位としている。

他のコンテスト大きく違うことは、定期点検や故障探求に使用される自動車または装置が毎年のように変わることである。そのため、その自動車に合わせた作業が必要であり、過去の経験がほとんど活かされない。そのため、全国大会と同じ車種を準備しなければならない。今回は、早くから販売ディーラや中古販売店などに依頼していたが、山形という地

域性から当該車種の販売台数が少ないことや、中古車や廃車として出てくるのが極めて少なく、やむなく違う車種に変更した。



4 競技

競技は、課題数に合わせ実習工場を 4 つのブースに分け実施した。1 課題あたり 1 ブースであるため、競技者の人数を考慮し、2 カ所の休憩ブースを設け一斉ローテーションで実施した。ただし、故障探求だけは現状復帰の際、課題の回答が分かる可能性もあるため、隣接した別実習室で行った。



5 結果

競技結果は、

- | | | |
|-----|--------|--------|
| 1 位 | 志田 将馬君 | (東根工業) |
| 2 位 | 工藤 浩太君 | (東根工業) |
| 3 位 | 仲島 雄大君 | (蔵 王) |

以上となり、「東根工業高校 志田将馬君」が東北大会出場となった。

6 まとめ

6 月とはいえ、例年になく気温が高い中大会を実施した。安全面の観点から選手諸君は、長袖のつなぎを着用して各課題に取り組んで頂いたが体調不良者など事故などがなく競技を終えたことは何よりであった。諸事情により課題の準備ができなかったことは事務局として申し訳なく、今後の課題であると感じた。